

会 議 記 錄

会議名称	令和7年度第2回通学路安全対策推進懇話会
日時	令和7年10月29日(水) 午後2時30分～午後4時00分
場所	秦野市役所本庁舎4階議会第1会議室
出席者	別紙「出席者一覧」のとおり
次第	別紙「次第」のとおり

会議の内容は、次のとおりです。

事務局	<開会>
教育部長	<教育部長挨拶> 委員の皆様にはお忙しい中、御参加いただき感謝申し上げる。本日の懇話会では、今年度の通学路整備要望に係る対応状況についてのほか、児童生徒の交通事故発生状況について等、説明をさせていただく予定となっている。皆様から忌憚のない御意見や御助言をいただきたい。
事務局	<議題1 令和7年度通学路整備要望に係る対応状況等について> ～資料1-1、資料1-2、別紙1について説明～
宮川委員	合同点検実施校は、毎年ローテーションで実施しているのか。
事務局	ローテーションではなく、合同点検実施箇所選定基準に基づき実施している。
横山委員	合同点検実施時期について、真夏の暑い中ではなく、時期を前倒しして、子どもたちの登下校の様子を確認しながら実施することはできないか。
事務局	現在のスケジュールより前倒しでの実施は難しい。子どもたちの登校時間に合同点検を実施した実績はあるので、今後も必要に応じて実施していく。

	なお、今年度は、庁内関係課による打合せ会の中で登下校中の合同点検は不要と判断している。
宇佐美委員	合同点検を実施していない箇所について、「対策不可」としている理由はどのようか。
地域安全課	設置基準に満たないとして「対策不可」としている。それを踏まえて、打合せ会の中で合同点検を不要としている。
宇佐美委員	対策不可とするのではなく、もう少し要望に寄り添い、ピンポイントでの対策は難しい場合でも、代替案等について、検討していくべきではないか。
見上委員	実際に親だったら心配になると思う。他地区でも時間はかかったが、改善した箇所がある。しっかりと確認してほしい。
事務局	各課から出てきた対策案をより精査し、他の代替案等を含めて柔軟な対応に努める。
宇佐美委員	令和3年度にも要望があった箇所について、令和8年度対応予定となっているが、暫定的な対策等はしているのか。しているのであれば、記載していただきたい。
道路管理課	令和3年度から始まり、段階を追って対応している。その中でグリーンベルトをするなど暫定的な対策は実施している。
事務局	経過が分かるよう記載の仕方を工夫していく。
宇佐美委員	横断歩道が設置できない箇所について、歩行者横断指導線を設置するなど柔軟な対応はできないか。
道路管理課	歩行者横断指導線はグリーンベルト間の橋渡しとして設置している。歩行者横断指導線のみでの設置事例がないため、今後検討する必要がある。
鈴木座長	要望を真摯に受け止め、現地を確認することの必要性を考えてほしい。
宮川委員	通学路整備要望における対策内容について、学校へフィードバックしているのか。また、学校から再度依頼はないのか。
事務局	学校へはフィードバックしている。再度要望がある場合には、翌年度提出してもらっている。
宮川委員	通学路整備要望一覧の中で「検討する」という文言になっている箇所があるが、検討という表現では、曖昧であるため、は

	つきりと記載すべきである。
鈴木座長	対策する、又はしているのであれば、表現を工夫するとよい。表現の仕方で伝わり方は変わる。
事務局	表現の仕方について、事務局で精査したい。
見上委員	路面標示等の塗り直しをする箇所としない箇所があるが、理由はどのようなか。塗り直しをするだけで、とても分かりやすくなると思う。
事務局	この箇所の要望に関しては、学校から要望があったが、確認すると通学路ではないことが判明したため、塗り直しはしない箇所としている。通学路以外の要望に対応することは難しいため、通学路整備要望一覧からは削除する。
鈴木座長	通学路とは別に、一般の道路としての改善要望はあるのか。通学路の予算と一般の道路補修の予算をがあるのか。
事務局	一般の道路整備要望については、自治会から要望されることが多い。
道路管理課	建設部では、通学路に関する予算と交通安全に関する予算の2種類があり、通学路以外の要望等については、交通安全に関する予算で対応している。
見上委員	炎天下の中、通学することはとても危険であり、日傘、ハンディーファン等を持たせることが重要である。
横山委員	水筒は定着しており、南小学校では、男女関係なく日傘をさしている。ハンディーファンについては、少しばらつきがあるよう思う。
事務局	<p style="text-align: center;"><議題2 児童生徒の交通事故発生状況について></p> <p style="text-align: center;">～資料2について説明～</p>
宇佐美委員	子どもたちが横断歩道を渡る際、手を挙げることが少ない。運転者からすると、手を挙げることで渡る意思表示になり、また、身体を大きく見せることもできるため、とても良いことであると考えている。長野県では、手を挙げて渡ることや停車した車へのお辞儀など交通マナーが定着しており、事故が減って

	いると聞いた。手を挙げて渡ることを指導してほしい。
事務局	渡った後、運転手にお辞儀をすることで、運転手も気持ちが良いと思う。
鈴木座長	下校時は、友達と話をしながら気づかず交差点に入っていることがある。周りを見ていないケースが多いため、ハード的な対策以外にも、交通安全教育が重要である。
横山委員	登校時は横断旗で渡らせてもらっているため、下校時が心配である。手を挙げて渡ることについて校長会で周知したい。
	今回は、通学路に限らない交通事故の発生状況とのことだが、通学路での事故件数等についてもまとめてもらえるとありがたい。
事務局	通学路での事故件数等については今後の課題とし、本懇話会でお示しできればと考えている。
鈴木座長	実際には、車両の不注意ではなく、飛び出し等による事故も多くある。また、自転車は加害者になる可能性がある。飛び出し等による事故については、気を付けるよう指導していくことも必要である。
事務局	<p>＜議題3 民間企業と連携した交通安全教室の開催について＞</p> <p>～資料3について説明～</p>
宮川委員	他地区での展開は予定しているのか。
事務局	グラウンドへトラックを配置する際の導線の確保等、条件があるため、条件を踏まえ、検討する必要がある。
宇佐美委員	なでしこ広場の交通公園では、トラック等を持ち込んでの交通安全教室は実施できないか。
地域安全課	小型トラックは乗り入れることはできるが、大きなトラックの乗り入れが難しい。
鈴木座長	体験することで、児童生徒の交通安全に対する意識が変わるとと思うので、他地区での展開も視野に入れて取り組みを進めてもらいたい。

事務局

<議題4 その他>

～通学路見守りサポーターについて説明～

宇佐美委員

交通安全協会も人員不足な状況であるため、タイアップするなど、お互いにとっていい方法がないか検討してほしい。

宮川委員

広報はだのに載せているのか。

事務局

過去に載せたことがある。

宮川委員

子どもたちが減っていく中で、見守りを行う人材の確保が急務である。人材確保に向けて取り組んでほしい。

～意見等なし～

事務局

<閉会>